

各位

「コロナ禍を契機とした障害のある人との新しい仕事づくりの調査」 アンケート回答ご協力をお願い

一般財団法人たんぼぼの家
理事長 播磨靖夫(公印略)

感染症対策や活動維持、新しい取り組みへの挑戦など、日々さまざまな活動されているなかで突然のご案内を失礼いたします。

新型コロナウイルスの影響により、障害福祉事業所など障害のある人のはたらく場も大きな影響を受けています。販売先の休業や営業自粛、イベントの中止、店舗への客足減少、得意先の減収など課題は多くあります。「今後の不安」「次の展開を考えている」という声に対して、新しい活動や事業のヒントが求められています。

そこで、このような状況を打破するために、工夫やアイデアを考え、障害のある人とともに仕事をつくっている個人や団体を社会に発信するため、この度アンケートを実施する運びとなりました。

私たち一般財団法人たんぼぼの家は1976年に設立し、障害のある人たちの社会参加や仕事づくりを推進してきました。2013年から障害のある人と協働で新たなしごと・はたらき方をつくり発信する「Good Job! Project」を推進しております。

コロナ禍においても積極的に障害のある人とともに新しい仕事をつくっている活動や事業をひろく調査し、WEBメディアを通して発信し、冊子としてまとめることで、全国の障害福祉事業所の今後にとって必要な情報を共有します。ぜひご検討いただき、本アンケートにご回答をお願いいたします。活動のご推薦も承りますのでご周知のほどお願い申し上げます。

コロナ禍を契機とした障害のある人との新しい仕事づくりの調査 概要

●【目的】

新型コロナウイルスの影響がある状況下でも、障害のある人の創造性を活かすことや、工夫やアイデアで先進的に活動・事業をつくっている個人や団体を社会に発信するため

●【対象】

- ・障害福祉に関わる団体や事業所または個人
- ・コロナ禍を契機に既存の仕事を発展させた(させている)活動や事業
- ・コロナ禍を契機に新しく取り組んだ(取り組んでいる)活動や事業

●【設問および所要時間】

設問数:6項目、約20~30分

●【回答期間】

2021年1月10日(日)まで

●【アンケートの活用方法】

- (1) ウェブサイトや各種メディアに掲載・発信 公開予定:2021年1月中旬頃~
- (2) 冊子・書籍の作成(一部の活動・事業のみ) 完成予定:2021年7月中旬頃~

※アンケートにご協力いただいた場合、完成でき次第、順次無料で送付させていただきます。



※本調査は日本サードセクター経営者協会が実施する「NPO等が新しい活動様式を生み出す事業」の助成を受けて実施しています。

[3] 課題や困難に対して、どのような試みを行ないましたか。工夫したこと、新たな取り組み、新しい仕事への挑戦など、自由記述でご記入ください。

(記入例)

- ・在宅就労をおこなった
- ・オンラインを活用した
- ・新しく機器を導入した
- ・従来おこなっていた仕事を発展できた
- ・作業空間や活動場所を工夫した など

[4] 試みを行なった結果、どのような発見や効果や影響がありましたか。 ※複数選択可

- 収入が増えた
- 業種を増やすことができた
- 障害のある人(利用者)の所得が増えた
- 障害のある人(利用者)の職域や能力をひろげることができた
- 地域や外部の人たちとネットワークを築くことができた
- 障害のある人(利用者)や職員のモチベーション維持・向上につながった
- その他

[5] [4]の発見・効果・影響について、具体的なシチュエーションや内容について、自由記述でご記入ください。

[6] 「障害のある人の仕事づくり」について、参考にしている取り組み、詳しく話を聴いてみたい取り組み、推薦したい取り組みがございましたら、団体名や URL など情報をご共有ください。

[お問い合わせ先]

Good Job! Project 相談窓口

〒630-8044 奈良県奈良市六条西 3-25-4 一般財団法人たんぽぽの家 内

TEL. 0742-43-7055 FAX. 0742-49-5501 EMAIL gjsoudan@popo.or.jp

(営業時間 月曜－土曜 10:00－18:00)

<https://goodjobproject.com/>